

地域対策協議会

・従来の協議に加え、ダム撤去を見据えた『地域の振興』についても協議。  
・『地域の振興』については、「地域づくり部会」での議論を尊重しながら、必要に応じ部会メンバーの出席を求め、部会審議状況報告を実施。

◎ダム撤去に伴う「地域課題」については、これまでの課題解決に向けた取組みにより、消防水利や地域交通関係等、様々な課題について、一定の方向付けができている状況。  
↓  
◎ダム撤去本来の目的である「清流球磨川を活かした『地域の振興』」を議論する転換点。  
“新たなステップへ”

個別検討部会

・ダム撤去に伴う地域課題については、「井戸枯れ部会」、「消防水利部会」、「地域交通部会」、「水産部会」、「施設部会」を立ち上げ、課題解決に向けた取組みを実施。  
※平成24年度からは、課題についての整理が進んできたため、「個別検討部会」として諸課題を一括して協議  
・残る地域課題や新たな課題については、必要に応じて「個別検討部会」を開催し、協議を継続してい

地域づくり部会（新設）

■基本的な考え方（コンセプト）  
◎「荒瀬ダム撤去に伴う地域課題」については、地域対策協議会において、引き続き、検討を継続していく。  
◎その一方で、ダム撤去完了が3年後に迫る中、ダム撤去本来の目的である「球磨川再生」という大きな目標に向け、新たに、「地域づくり部会」を立ち上げ、『地域の振興』について、検討を行っていくこととする。

○設置期間  
・平成27～29年度の3年間  
○協議事項  
・基本コンセプトの策定、計画書の策定 など  
・ダム撤去を見据えた『地域の振興』や交流人口増加の取組み、球磨川を核とした地域づくり(ポートハウスの利活用策も含む)の検討  
・「球磨川水系河川整備基本方針」に沿った地域計画等の検討  
○構成  
・『地域の振興』に関心のある方々、行政(県南広域本部、八代市地域づくり関係課、坂本支所など) など  
※部会には、構成メンバーの他、地域対策協議会の委員・顧問も出席し、議論に参加することができる。  
○事務局  
・企業局と八代市との共同事務局  
※県と市の連携  
・県、市: 部会発足に係る人選 など  
・県 : 協議会及び個別検討部会との調整、財政支援、各種検討に係るアドバイス など  
・市 : 地元要望や意見の集約、地元自治体としての方向性やビジョンの検討 など

- 井戸涸れ部会
- 消防水利部会
- 地域交通部会
- 水産部会
- 施設部会